

秋田大学医療DX推進プロジェクト

よりよい医療、よりよい病院経営を目指して、病院のデータを活用することが期待されている。

本講演では、患者満足度調査を主に取り上げ、疫学の観点から、どのようにデータを活用すれば病院経営改善が可能となるのかを示唆したい。その他、電子カルテ、疾病登録（レジストリ）、レセプトやDPC、インシデント報告、患者からの投書、職員満足度調査、ストレスチェックなど、病院には多種多様なデータが蓄積されている。これらの活用の方角性についても簡単に触れたい。

慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 専任講師

よしむら きみお

吉村 公雄 先生

慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学医学部助手（専修医）（精神神経科学）、国立がんセンター研究所がん情報研究部研究員、同腫瘍ゲノム解析・情報研究部主任研究官を経て、2006年より現職

日時 2023年10月2日（月）
17時15分～18時45分

場所 基礎医学研究棟第一会議室

問い合わせ

秋田大学大学院 医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座

【Tel】018-884-6087 【Mail】c.igarashi@med.akita-u.ac.jp

「病院経営に資するデータ解析の方向性」
病院に存在するデータをどう役立てるか

※事前申し込みは行いませんので、直接会場にお越しください。